

3Dプリンターを利用したフィールドガイド装置の提案 -長崎県対馬市下島を対象に-

浦郷和也¹⁾、坂根一浩¹⁾、藤田直子²⁾

1) 九州大学芸術工学部

2) 九州大学大学院芸術工学研究院

対馬はツシマヤマネコに代表される希少な動植物の生息地域であると共に諸外国との文化交流の面でもその特異性が知られている。市では広く研究者を受け入れてフィールド研究の推進をサポートしている。本発表では、対馬の魅力を多くの研究者や観光客に伝えるためのフィールドガイド装置の制作とその成果を報告する。3Dプリンターで作成した対馬市下島に様々な映像を投影し、立体的に地理的特性や自然環境を提示した。また、地域資源を活かした観光ツアーの提示などを行った。